

「岩国市子どもの読書活動推進計画（第五次）案」に対するパブリックコメントの結果について

令和6年12月16日から令和7年1月20日まで、標記計画案に対するご意見（パブリックコメント）を募集した結果、次のとおり提出されました。

- ・提出者数 6名
- ・意見総数 20件

提出されたご意見の内容とそのご意見に対する市の考え方について、次のとおり公表します。

第2章 計画の基本的な方針

番号	意見の内容	市の考え方
1	2頁 1 家庭、地域、学校、図書館、行政を通じた社会全体での取組の推進（1）不読率の低減に向けた読書活動の推進 孫と毎日のように電話で話しているが、スマートフォンを離さない時間が多い。その時間の半分でも読書をする、と、すばらしい人間性ができると思う。読書の面白さを感じるようにするには、出生後からの環境が大事だと思う。	貴重なご意見をありがとうございました。今後の本計画の推進における参考とします。
2	2頁 1 家庭、地域、学校、図書館、行政を通じた社会全体での取組の推進（3）デジタル社会に対応した読書環境の整備 図書館の利便性を向上させる案として、図書館アプリの開発が良いと考えます。デジタルに精通した子どもたちの得意な一面を活用することにより、読書の推進につなげていけると考えます。	図書館アプリを早急に導入することは困難ですが、子どもの読書活動の推進において、進化するデジタル技術の効果的な活用に努めていきます。

第3章 第四次計画期間における取組・成果

番号	意見の内容	市の考え方
3	4 頁 1 家庭、地域における取組・成果（3）読み聞かせ等の読書活動の充実 指標（子育て支援センターにおける絵本の読み聞かせ、おはなし会等の活動）について、実施回数を比較するには、パンデミックもあったので、比較するデータがコロナ前との比較ができず、過去4年では不十分だと思います。	第四次計画期間中の取組・成果のため、それ以前の期間中の指標は記載していません。
4	8 頁 2 学校における取組・成果（3）魅力ある学校図書館の運営 岩国市の学校司書は小中学校 30 校に 15 人の配置が行われているが、文部科学省の計画では 1.3 校に 1 人となっている。岩国市でも児童数や職員数が多く、資料装備などの業務量が圧倒的に多い大規模校は 1 校勤務としてほしい。	引き続き、検討していきます。
5	8 頁 2 学校における取組・成果（4）市図書館、地域との連携 指標（学校・地域が子どもたちの目指す姿を共有している公立小・中学校数）のうち、目標は微増だが、実績は減となっている。これは統合によるものなのかもしれないが、この数値が意味するものが良くわからない。	指標、数値がわかりやすいものとなるよう、今後検討していきます。
6	14 頁 5 連携のための取組・成果 学校読み聞かせ活動について、実際に読み聞かせをしている私たちがネットワークの中に入っているのか不明。希望者がボランティアでやろうとしても、やりかたについて学ぶ場がないと、自信を持てず躊躇してしまう。実際の各学校の読み聞かせサークルなどと繋がっていくことが必要。	本計画の 34 頁で、子どもの読書活動に関わるボランティアの方々もネットワークの一員と位置付けています。ご指摘のとおり、子どもを取り巻くすべての大人たちの連携協力が必要と認識しています。

第4章 第五次計画の内容

番号	意見の内容	市の考え方
7	17 頁 1 岩国市の現状と課題、目標と方策（1）家庭・地域における子どもの読書活動の推進 指標（地域子育て支援センターにおける絵本の読み聞かせ、おはなし会等の活動）では、かなり高い目標が立てられているように思います。これまでの実績と比べてみると、かなり乖離していると思います。この目標の数字は何を根拠に出されたのでしょうか。	「読み聞かせ等の読書活動」については、現計画における実績が目標値を大きく下回っていますが、この期間は新型コロナウイルス感染症対策の期間中で活動を制限していたこと等も影響したものと考えています。 前計画期間では、概ね目標値以上の実績があることから、第五次計画においては、新型コロナウイルス感染症対策の期間以前の状況に回復することを目標に、現計画期間中の目標値を継続した指標としています。
8	20 頁 1 岩国市の現状と課題、目標と方策（3）学校における子どもの読書活動の推進 集団読書は有効な方法だと実感しているが、各学校で子どもの人数分の本を買うことは難しいので、子どもの発達に即した形で本を揃えてほしい。併せて、図書館の蔵書が学校で活用されるには、学校に本を届ける体制の構築が必要。市図書館では団体貸出しサービスを行っているが、図書配送システムがないので、本が活用しきれていない。他市のような配送システムの構築がすぐには難しくても、自動車図書館の来ない学校については、市の通送便の活用などを考えてもらいたい。	集団読書のために、市図書館が全児童数分の本を購入することは困難ですが、引き続き学校との連携を図っていきます。 配送サービスについては、今後の本計画の推進における参考とします。
9	21 頁 1 岩国市の現状と課題、目標と方策（3）学校における子どもの読書活動の推進 市内各学校で取り組まれているコンクールだが、実際には課題図書予算も十分ではない。せめて課題図書は各学校に支給してほしい。	自由に図書が選択できるよう、予算を学校に配当しています。

10	22 頁 1 岩国市の現状と課題、目標と方策（3）学校における子どもの読書活動の推進 司書教諭は多忙を極めており、それを支える学校司書が安定的に支えるだけの雇用・研修状況になっているとは言い難い。岩国市では、採用された学校司書は一人で学校図書館に勤務することになり、それに耐えうる専門性を養う研修が求められている。	研修の充実について、引き続き努力していきます。
11	22 頁 1 岩国市の現状と課題、目標と方策（3）学校における子どもの読書活動の推進 この「読めない状況」を本気で打開しようとするなら、児童の発達に合わせた本の整備と、その実践的な研究も必要だと考える。県内他市では、教育委員会や図書館に指導のコーディネーター（名称はいろいろ）がいて、学校の実態に即してアドバイスあるいは条件整備のお手伝いなどを行っている。岩国市もそうした役割を担う職員を配置することも検討してほしい。 また、学校図書館に教科書、新聞を配備している学校は少ないが、教科書等は各校で整備されるべきものだと考える。	学校図書館を取り巻く体制の充実に向けて、引き続き努力していきます。 また、各学校で状況が異なるため、学校の判断で必要な物品が購入できるよう、予算を学校に配当しています。
12	25 頁 1 岩国市の現状と課題、目標と方策（3）学校における子どもの読書活動の推進 文字を学び始めた小学校の段階でしっかり読めるようにしておくことは重要である。学校図書館に子どもたちが楽しみながら活字に触れ、長文でも苦なく読めるようにするためにも、話題の本、子どもたちが読みたい本も入れる必要がある。小学校の図書予算を増やしてほしい。	貴重なご意見をありがとうございました。引き続き検討していきます。

13	25～26 頁 1 岩国市の現状と課題、目標と方策（3）学校における子どもの読書活動の推進 学校司書にタブレットが配布されていない学校もあり、学校図書館のＰＣがネットにつながっていない学校も多い。 今まで読んできた本のリストを個人の読書記録として必要な時には見返せるというような図書館ソフト、学校にある本の検索ができる体制づくりなども望まれる。 また、子どものタブレットで市図書館の検索はできるが、自分の学校の資料は探せないという状況がある。これは学校図書館の検索システムがタブレットには反映されていないからであり、学校図書館の検索もできるようにすることが望ましい。	タブレット端末については、令和５年度から、端末配備を希望する学校司書に対して配布しています。 また、検索システム等のＩＣＴ環境については、各学校と連携して環境整備の充実に努めていきます。
14	31 頁 1 岩国市の現状と課題、目標と方策（4）市図書館における子どもの読書活動の推進 学校図書館にとって団体貸出制度はとても大切である。現在、学校と公共図書館との連絡方法はファックスが中心になっているが、学校図書館ではメールアドレス等もなく、この先どのように対応するのだろうか。	本計画の 31 頁で、図書館から学校等への団体貸出は充実することとしています。相互の連絡方法といった具体的な内容については記載しておりませんが、今後の本計画の推進における参考とします。
15	32 頁 1 岩国市の現状と課題、目標と方策（4）市図書館における子どもの読書活動の推進 図書館ではステップアップ講座などが開催されるのに、それぞれの読み聞かせのサークルをやっている人も知らないという場合もあり、担い手の継続・育成・知識習得・技術向上が有機的につながるような連絡体制が望まれます。なかでも交流会の場の具体的実現を期待しています。交流会の場を確保していただき、市内の関係サークルなどが連絡会を作り、協働して企画していくこととも考えられると思います。	講座等の開催については、市報や図書館ホームページへの掲載、チラシ配布、ポスター掲示により周知しています。また、交流会の開催については、今後の本計画の推進における参考とします。

16	32 頁 1 岩国市の現状と課題、目標と方策（４）市図書館における子どもの読書活動の推進 子どもが本を手にする方法という点では、歩いて行けるところに図書館がない地区では、自動車図書館は大切な本との接点です。新しい自動車図書館も導入されたようですが、ステーションの新規募集はどのようなになっているのでしょうか。	岩国市自動車図書館は、令和 6 年 11 月に軽自動車タイプの自動車図書館車が加わり、3 台体制となりました。この 3 台を有効に使った全域サービスを目指しており、必要に応じてステーションの見直しや新規募集を行うこととしています。詳細については、今後検討していきます。
17	32 頁 1 岩国市の現状と課題、目標と方策（４）市図書館における子どもの読書活動の推進 児童から読みたい本の要望を聞き取り、学校・保育園での読み聞かせの実施等を行うことが必要。	ご指摘のとおり、本計画では、「⑥中高生へのサービス（32 頁）」として、アンケートを実施するなど、ニーズの把握を行うこととしています。また、学校や保育園等での教諭、保育士、ボランティア等による読み聞かせも継続していきます。
18	33 頁 1 岩国市の現状と課題、目標と方策（４）市図書館における子どもの読書活動の推進 日本語を母語としない子どもへのサポートは喫緊の課題である。学校によっては支援員さんが配置されているが、英語圏以外の子どもや親が、資料を探して学校図書館に来ても対応で困ることが多い。日本の生活に慣れるための日々の言葉も十分でないので、特別の予算を割り当てるといことも考えていただきたい。	日本語を母語としない児童生徒に対して、自立した学校生活が送れるよう支援員を配置していますが、支援員の拡充や支援体制について検討していきます。

資料編

番号	意見の内容	市の考え方
19	36～42 頁 資料編 1 子どもと読書に関するアンケート調査について アンケートの質問項目について、なぜ読書をしないのかを問う項目があった方が、課題を見つけて解決策を出すのには良かったのではないかと思う。	貴重なご意見をありがとうございました。今後の本計画の推進における参考とします。
20	48 頁 資料編 6 岩国市子どもの読書活動推進計画策定のための意見を聴く会 学校司書が計画策定のメンバーに入ることが望ましいと考える。	現在の任用上、学校司書の用務として行うことは難しいです。